

大切な文化財を火災から守れ!

文化財防火デーの1月26日、八堂山にある考古歴史館で消防訓練が実施されました。

2階にある生活様式模型コーナーから出火したという想定のもと、来館者の避難誘導や消防隊による放水、また訓練用の消火器を用いた初期消火訓練などが行われ、参加者は折からの寒波により張り詰めた空気の中、緊張した面持ちで万が一に備えた対応を確認していました。



1/14 丹原図書館 来館者10万人達成!

図書館で素敵な本にたくさん出会えたらいいですね



平成21年6月に開館した丹原図書館の10万人目となった来館者は、市内在住の永井珠(たま)ちゃん(4歳)・華(はな)ちゃん(2歳)の姉妹で、お母さんと三人での来館でした。記念セレモニーに初めは驚いた様子でしたが、認定書や花束を受け取ると、元気良く「また来ます」と話してくれました。

今後も、西条・東予・小松温芳の各図書館とともにより親しまれる図書館サービスに努めてまいります。

1/22「ありがとう その笑顔が見たいから」

実験に基づき話された長友さん



関西京都今村組の迫力あるステージ

新しい時代の要請に応える望ましい活動を推進しようと開かれたPTA大会には、室戸市佐喜浜町の皆さんによるアトラクションや、イタリアサッカーリーグ・セリエAで活躍中の長友佑都選手の母・長友りえさんによる子育てに関する講演、さらには関西京都今村組代表の今村克彦氏の教育者としての体験談やダンスなども披露され、相互交流と理解が深められた1日となりました。

2/8 1年間におよぶ防災教育の成果を共有

市内の全小学校の6年生が総合文化会館に集い開催された「第3回子ども防災サミット」。楠河・田滝・吉井・玉津の各小学校からは、地震による津波等からの身の守り方や、避難所となる学校で自分たちができること、また地域住民とつながるための話題づくりの方法などについて実践発表がありました。続いてパネルディスカッションでは多くの意見交換がなされ、最後にサミット宣言を採択し閉会しました。



1/15 一堂に会し 日ごろの活動成果を披露



市内の29公民館を拠点に活動しているサークルやグループの皆さんが、日ごろの取り組みの成果や作品などを発表する「公民館フェスティバル」が丹原文化会館で開催されました。プロ顔負けの熱演や力作を鑑賞したり、軽スポーツや創作活動の体験など、約2,500人の来場者は、舞台発表・作品展示・体験コーナーをそれぞれ堪能していました。



地域での防災活動をさらにリード

災害を想定した現実的な訓練



これまでに防災士養成講座で資格を取得している皆さんの、専門的な知識をさらに高め、地域での防災活動をよりいっそう推進していただくために、2月5日、防災士連絡協議会総会と防災士フォローアップ研修会を開催しました。参加した皆さんは、昨年の東日本大震災の教訓を胸に、避難所設営などの模擬訓練に真剣な表情で取り組んでいました。

2/12 早春の気配に誘われて… 市民の森で「梅まつり」

お餅の配布場所には大行列ができました



あたたかな天候に恵まれた市民の森で、恒例の「梅まつり」が行われました。

梅林園に設けられたお茶席では、多くの皆さんが抹茶と和菓子を味わいながら、ようやく咲き始めた梅に春の足音を確かめ、また文芸を楽しまれる皆さんは、「梅」「水」「石籠」を題材にした短歌や俳句・川柳などを詠まれていました。さらに、考古歴史館の周辺では、つきたてのお餅や体が温まるしょうが湯の無料サービスなどもあり、市民の森は終日多くの人でにぎわいました。